

平成22年度 事業報告書

自 平成22年 4月 1日
至 平成23年 3月31日

事業報告書目次

I	総務に関する事項 -----	2頁
	1. 平成21年度事業報告(中間報告)及び収支決算見込、平成22年度事業計画及び収支予算の報告	
	2. 平成21年度事業報告及び収支決算、平成22年度変更収支予算の報告	
	3. 経済産業省による業務及び財産状況の検査	
II	理事会・評議員会等の開催 -----	3・4頁
	1. 理事会	
	2. 評議員会	
	3. その他の委員会	
	(1) 研究助成審査委員会	
	(2) 機関誌編集委員会	
III	各種事業の実施に関する事項 -----	4・5頁
	1. 先端加工機械技術に関する研究助成	
	2. 研究成果等の普及	
	(1) 機関誌の発行	
	(2) 技術講演会の開催	
	(3) 技術調査・普及活動の支援	
	3. 他団体主催行事等への協力	
IV	その他 -----	5頁

I 総務に関する事項

1. 平成21年度事業報告(中間報告)及び収支決算見込、平成22年度事業計画及び収支予算の報告

経済産業省令第55号「経済産業大臣の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則」第4条1項の規程に従い、平成22年5月11日経済産業大臣に対し

- (1) 第70回理事会・第41回評議員会議事録(平成22年3月17日開催)
- (2) 平成21年度事業報告書(中間報告)及び収支決算書(見込)
- (3) 平成22年度事業計画書及び収支予算書
- (4) 登記簿謄本

をもって報告を行った。

2. 平成21年度事業報告及び収支決算、平成22年度変更収支予算の報告

経済産業省令第55号「経済産業大臣の所管に属する公益法人の設立及び監督に関する規則」第4条1項の規程に従い、平成22年8月2日経済産業大臣に対し

- (1) 第71回理事会・第42回評議員会議事録(平成22年6月28日開催)
- (2) 平成21年度事業報告書及び財務諸表
- (3) 平成22年度変更収支予算書
- (4) 平成20年度研究助成の成果

をもって報告を行った。

3. 経済産業省による業務及び財産状況の検査

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第95条の規程に基づき、従前の例により業務等の立入検査が行われた。

- (1) 検査事項 : 業務及び財産状況
- (2) 日 時 : 平成23年2月18日(金) 10:00~12:20
- (3) 場 所 : 先端加工機械技術振興協会事務所
- (4) 検査職員 : 経済産業省製造産業局産業機械課

経済産業技官 廣瀬浩二
経済産業技官 鈴木慎一郎
情報化推進係長 藤原清司

II 理事会・評議員会等の開催

1. 理事会

(1) 第71回理事会

平成22年6月28日、霞山会館会議室において第71回理事会を開催し、下記提出議案を全員一致で決議した。

- ・平成21年度事業報告及び収支決算
- ・平成22年度収支予算の変更
- ・平成20年度研究助成の成果
- ・その他

(2) 第72回理事会

平成23年3月23日、霞山会館会議室において第72回理事会を開催する予定であったが、東日本大震災の影響により、急遽書面開催に変更し、下記提出議案を審議し、承認された。

- ・平成22年度事業報告（中間報告）及び収支決算（見込）
- ・平成23年度事業計画及び収支予算書
- ・その他

2. 評議員会

(1) 第42回評議員会

平成22年6月28日、霞山会館会議室において第42回評議員会を開催し、下記提出議案を全員一致で了承した。

- ・平成21年度事業報告及び収支決算
- ・平成22年度収支予算の変更
- ・平成20年度研究助成の成果
- ・その他

(2) 第43回評議員会

平成23年3月23日、霞山会館会議室において第43回評議員会を開催する予定であったが、東日本大震災の影響により、急遽書面開催に変更し、下記提出議案を審議し、承認された。

- ・平成22年度事業報告（中間報告）及び収支決算（見込）
- ・平成23年度事業計画及び収支予算書
- ・その他

3. その他の委員会

(1) 研究助成審査委員会

平成22年度の研究助成対象者を採択するための研究助成審査委員会を平成22年10月5日に開催した。

(2) 機関誌編集委員会

機械メーカー、使用者、研究者からの委員3名を以て構成し、委員会を下記の通り3回開催した。本年度も経費節減のため、自主的編集作業を行った。

第1回委員会：平成22年 6月21日

第2回委員会：平成22年10月 4日

第3回委員会：平成23年 2月 7日

Ⅲ 各種事業の実施に関する事項

1. 先端加工機械技術に関する研究助成

申請のあった12件の研究課題に対し、当協会審査委員会による審査の結果、本年度は7件の研究助成を行った。

◎ 久保田章亀（熊本大学大学院・助教）（50万円）

「ダイヤモンド基板の高精度加工技術に関する研究」

◎ 田上 英人（豊橋技術科学大学大学院・助教）（50万円）

「熱陰極型プラズマガンを用いたスーパースムース金属窒化物薄膜の開発」

◎ 松本 良（大阪大学大学院・助教）（50万円）

「サーボプレスと潤滑油流路付きパンチを用いたパルス深穴成形加工法の開発」

◎ 梅津信二郎（東海大学・助教）（50万円）

「マイクロデジタルファブリケーション装置の開発」

◎ 村田 順二（立命館大学・助教）（50万円）

「電解酸化を利用したワイドギャップ半導体基板表面の高効率・超精密加工に関する研究」

◎ 野田 雅史（千葉工業大学・研究員）（50万円）

「組織制御した Mg 合金の2軸引張・圧縮試験機による加工技術の最適化と評価方法の開発」

◎ 岡田 将人（金沢大学・助教）（50万円）

「リーマレスドリルによる高精度穴加工の研究」

2. 研究成果等の普及

(1) 機関誌の発行

機関誌「先端加工技術」を下記の通り3回発行し、各方面に配布した。また、当協会の主要事業である研究助成を受けた研究の成果概要を機関誌で順次公表することになり、その第1回として平成20年度に助成をした研究のうち3件について第82号、2件について第83号に担当研究者に内容・成果をまとめてもらい掲載した。

第81号：平成22年 8月 [医療分野における加工技術]

第82号：平成22年11月 [イノベーション時代を支える先端加工と計測技術]

第83号：平成23年 3月 [航空機部品の加工技術]

(2) 技術講演会の開催

「医療分野における加工技術の最前線」をテーマとした講演会を日本工業大学神田キャンパスにおいて、平成22年12月10日に開催した。参加者は35名であった。演題と講演者は以下の通りである。

「医療分野における加工技術」

光石 衛 (東京大学大学院)

「人工関節用の生体骨加工システム」

井上 貴之 (ナカシマメディカル株式会社)

「生体の薄切片標本作製システム」

小久保 光典 (東芝機械株式会社)

「チタン材料のインプラント製品の加工技術」

鈴木 庸介 (株式会社スズキプレシオン)

「人工関節材料の鏡面研削加工」

大森 整 (独立行政法人理化学研究所)

(3) 技術調査・普及活動の支援

静岡県東部精密技術専門委員会と(財)先端加工機械技術振興協会の共催により、平成22年5月28日、沼津工業技術支援センター(沼津市)にて特別講演会を開催した。当協会の機関誌80号を配布し参加者は43名であった。演題と講演者は以下の通りである。

「TMT計画の全容および主鏡製作における課題」

秋田谷 洋 (自然科学研究機構国立天文台)

「主鏡加工の現状技術」

舞原 俊憲 (京都大学名誉教授)

3. 他団体主催行事等への協力

(1) 加工技術データファイルの整備

財団法人機械振興協会技術研究所の加工技術データファイル運営委員として委員会(平成22年12月9日)に参加し、各種加工データのデータベース化に協力した。

(2) その他

加工技術に関連する各種団体主催の行事への協賛、あるいは委員会、賞の審査委員として参加することにより、加工技術の向上、普及に努めた。

IV その他

当協会の「三十年の歩み」を平成23年2月に発行した。「二十年史」(平成13年6月)、「二十五年の歩み」(平成18年2月)に続き第3冊目の発行となった。